

課題番号 : 27指2

研究課題名 : 開発途上国における医療の質・安全の取り組みの進捗の可視化に関する研究

主任研究者名 : 仲佐 保

分担研究者名 : 仲佐 保、村井 真介

キーワード : 医療の質・安全、クオリティ・マネジメント、ヘルスシステム、TQM、病院

研究成果 :

① 医療の質改善の政策、法令、ガイドライン、研修体制のレビュー

- 内発的な改善の風土がない病院では、ベトナムで施行されている『病院の質基準』のように外部から与えられる基準があると組織内の改善目標が浮き彫りになる。このような外部の基準は、ベトナムでは一方的に作用しているのではなく、自己評価と他者評価の取り組みを通じて、各病院に自発的な改善課題の抽出を促す役割も果たしていることが分かってきた。
- 病院に継続的質改善ができる風土・文化・組織体制をつくりだすための国際協力として、現時点で、①病院のあるべき姿に対する支援、②病院の個々の質改善活動に対する支援、③管理技術と固有技術に関する戦略的人材育成の支援、④質改善活動の実践経験共有機会を設ける支援の4項目が見出されてきた。

② 医療の質・安全の取り組みの導入段階の一般化

- 過去2年間に開催した『ベトナム医療の質・安全フォーラム』での参加者の議論について逐語録と翻訳資料を作成した。これらの資料からベトナムではインシデント報告システムと5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の導入段階、直面する課題とそれらの解決方法を、複数の病院の経験を基に一般化すべく参加病院の確保と調査手順の作成を進めた。
- 既にベトナム国内にベトナム語版の調査ツールが存在していることを確認したため、初年度に予定していた患者安全文化測定ツールは本研究では扱わないこととした。
- メディアによる医療事故報道は、ベトナムでは医療事故が新聞に掲載されるが、ラオスではおもてには出てこない。しかしラオスではフェイスブックを使って病院への苦情が利用者間で共有されていることが確認できた。

③ 病院マネジメントに運用の指標を活用する際の課題と活用方法

- 既存の病院の情報システムからサービスの運用プロセスをモニタリングできる可能性がある。現在、チョーライ病院の外来待ち時間とバクマイ病院ハートインスティテュートの心臓カテーテル使用時チェックリストの遵守状況についてデータを収集しはじめている。その他約10病院との協力関係を樹立すべく調査手順の作成を進めた。

Subject No. : 27 Shitei 2

Title : Visualization of progress of efforts on quality and safety in healthcare in developing countries

Researchers : Tamotsu NAKASA, Shinsuke MURAI

Key word : Quality and Safety in Healthcare, Quality Management, Health Systems, Total Quality Management, Hospital

Abstract :

1. Reviews on policies, guidelines and training for quality and safety in healthcare
 - “Hospital Quality Criteria” given by outside of hospitals help the hospitals identifying improvement opportunities, even if the hospitals were not accustomed to spontaneous identification of improvement opportunities. In Vietnam, such “Hospital Quality Criteria” encourages hospitals to identify their improvement opportunities by self-assessment and others assessment.
 - As an international cooperation that strengthen climate, culture and systems for quality management in hospitals, four types of supports were identified such as (1) the ideal state of hospitals, (2) quality management activities, (3) strategic human resource development for management skills and clinical skills and (4) sharing practical experiences.
2. Generalization of efforts for quality and safety in healthcare
 - All discussions, presentations and proceedings of Vietnam Forum on Quality and Safety in Healthcare in the last two years were translated into English. Based on these materials, generalization of implementation stages of Incident Reporting Systems and 5S will be generalized.
 - There is an official Vietnam version of hospital survey on patient safety culture (AHRQ) in Vietnam. Therefore this study does not work for measurement tools of patient safety culture.
 - In Vietnam, mass media reports medical errors. In Lao PDR, although there is no newspaper article on medical errors, patients’ complaints and bad experiences are posted on Facebook.
3. Issue on use of operation indicators of hospitals for hospital quality management
 - The existing hospital information systems could collect and monitor processes of service delivery in hospitals. Currently, data collection has started for (1) waiting time of out-patient department in Cho Ray Hospital and for (2) conformance of filling the check-list of cardiac catheter. The project prepares collaboration with 10 other hospitals.

課題番号 : 27指2
研究課題名 : 開発途上国（ベトナム、ラオス、カンボジア等）における医療の質・安全の取り組みの進捗の可視化に関する研究
主任研究者 : 仲佐 保、分担研究者 : 仲佐 保、村井 真介

研究目的 日本が国際協力として支援できるのは何か？

本研究は、保健医療サービスの質改善と医療安全に取り組みつつある国々にて、取り組みの進捗を可視化する枠組みの構築を目的とする。

研究方法

NCGMの拠点が設置されている国々（ベトナム、ラオス、カンボジア等）を対象に

- ① 医療の質改善の政策、法令、ガイドライン、研修体制のレビュー
- ② 医療の質・安全の取り組みの導入段階の一般化
- ③ 病院マネジメントに運用の指標を活用する際の課題と活用方法

研究成果

① 医療の質改善の政策、法令、ガイドライン、研修体制のレビュー

- 『病院の質基準』のように外部から与えられる基準があると組織内の改善目標が浮き彫りになる。
- 国際協力のかたちとして、①病院のあるべき姿に対する支援、②病院の個々の質改善活動に対する支援、③管理技術と固有技術に関する戦略的人材育成の支援、④質改善活動の実践経験共有機会を設ける支援の4項目が見出されてきた。

② 医療の質・安全の取り組みの導入段階の一般化

- インシデント報告システムと5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)の導入段階、直面する課題とそれらの解決方法を、複数の病院の経験を基に一般化すべく参加病院の確保と調査手順の作成を進めた。

③ 病院マネジメントに運用の指標を活用する際の課題と活用方法

- 現在、チョーライ病院の外来待ち時間とバクマイ病院ハートインスティテュートの心臓カテーテル使用時チェックリストの遵守状況についてデータを収集しはじめている。その他約10病院との協力関係を樹立すべく調査手順の作成を進めた。

課題番号 : 27指2
研究課題名 : 開発途上国（ベトナム、ラオス、カンボジア等）における医療の質改善の政策レビュー研究
主任研究者名 : 仲佐 保
分担研究者名 : 仲佐 保
キーワード : 医療の質・安全、クオリティ・マネジメント、ヘルスシステム、TQM、病院

研究成果 :

ベトナムとラオスの医療の質・安全にかかる政策のレビューと日本の医療の質・安全にかかる政策および国際協力をレビューして、医療の質・安全に取り組み始めた国の進捗度を知るには、（１）医療の理想像、（２）病院が医療の質・安全に取り組む動機、（３）病院で医療の質・安全に取り組む人々、（４）クオリティ・マネジメントの実践による試行錯誤、そこから（５）効果的なアプローチ（グッドプラクティス）の発見、（６）グッドプラクティスを広げる標準化、（７）病院間で実践経験を共有するメカニズム、という視点が見出されてきた。その後、上記の視点を強化する医療の質・安全分野の国際協力の具体的なかたちを考察してきた。病院に継続的質改善ができる風土・文化・組織体制をつくりだすために、現在のところ、①病院のあるべき姿に対する支援、②病院の個々の質改善活動に対する支援、③管理技術と固有技術に関する戦略的人材育成の支援、④質改善活動の実践経験共有機会を設ける支援の４項目が見出されてきた。

- ① 病院のあるべき姿に対する支援：内発的な改善の風土がない病院では、ベトナムで施行されている『病院の質基準』のように 外部から要求される基準があると組織内の改善目標が浮き彫りになる。当面、病院は浮き彫りになった改善目標に対して取り組むことができるようになる。このような外部の基準は、ベトナムでは一方的に作用しているのではなく、自己評価と他者評価の取り組みを通じて改善課題を見出す力が強化され、各病院に自発的な改善課題の抽出を促す役割も果たしている。ラオスでは、病院のあるべき姿が『Five Goods One Satisfaction』として掲げられたものの、その具体化を通して『病院の質基準』を作成する過程を JICA の QHC プロジェクトが支援している。いずれも現在先進国で使われている病院の質基準よりも基準の中身としては劣るものの、どれも当該国の実情に合わせて、当該国の病院がすぐに始められる内容になっている。
- ② 病院の個々の質改善活動に対する支援：病院組織でサービスの質を改善するありとあらゆる質改善活動がこれに該当する。
- ③ 戦略的人材育成の支援：ラオスとベトナムの病院では、多くの職員が医療関係者であり、質管理のようなマネジメント技術を学んできた経験はほとんどないと言われる。病院組織を動かす戦略的人材育成としては、病院の院長、質管理委員会、質管理部、看護部等を対象にマネジメント技術の能力強化を図る支援が望ましいと考えられる。また、臨床技術は、あるべき姿が比較的明確なので、病院で提供するサービスに応じて臨床技術の能力強化を図る支援ともできる。
- ④ 実践経験共有機会を設ける支援：トレーニングだけでは受講生は学んだことを実施しないと言われる。医療技術等国際展開事業『ベトナム医療の質・安全のマネジメントにかかる能力強化事業』では、本邦研修に現地フォーラムを加えることで、本邦研修受講生が研修で学んだことを実践し、その経験を他者・他病院へ共有するという循環が生み出せている。

課題番号 : 27指2

研究課題名 : 開発途上国（ベトナム等）における医療の質・安全の取り組みの進捗の可視化に関する研究

主任研究者名 : 仲佐 保

分担研究者名 : 村井 真介

キーワード : 医療の質・安全、クオリティ・マネジメント、ヘルスシステム、TQM、病院

研究成果 :

① 医療の質・安全の取り組みの導入段階の一般化

- 医療の質改善と医療安全の文化と手法の組織浸透度を把握する方法の開発として、医療の質・安全の取り組みの導入経験の一般化を進めるべく調査した。
- 医療技術等展開推進事業（厚労省）でこれまで『ベトナム医療の質・安全フォーラム』を2回開催した。同フォーラムでは、延べ31施設が医療の質・安全の取り組みの実践経験を発表した。本研究ではフォーラムでの病院関係者の議論について逐語録とその翻訳資料を作成した。研究への協力を希望する病院が確保できてきたことから、ベトナムでも特に関心のある（a）インシデント報告システムと（b）5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の導入段階、直面する課題とそれらの解決方法を、複数の病院の経験を整理することでフレームワーク化すべく参加病院の確保と調査手順の作成を進めた。
- 初年度に予定していた患者安全文化の測定ツールは本研究では扱わないこととした。既にホーチミン市保健局が米国医療品質研究調査機構（AHRQ）の病院患者安全文化の調査様式のベトナム語版を公開している。また、テキサス大学の安全風土調査（SAQ）もベトナム人研究者によってベトナム語へ翻訳されていることを確認した。
- メディアでの医療事故報道は、ベトナムでは新聞に医療事故が掲載されるが、ラオスではまだ新聞には掲載されていない。ラオスではフェイスブックを使って病院に対する苦情が共有されていることが確認できた。

② 病院マネジメントに運用の指標を活用する際の課題と活用方法

- 臨床指標データを処理する仕組みのプロセス構造分析として、病院マネジメントに運用の指標を活用する際の課題と活用方法を調査した。
- 本来の意図とは異なる既存の病院の情報システムからサービスの運用プロセスをモニタリングできる可能性が示唆された。現在、（a）チョーライ病院の外来待ち時間のデータ収集プロセスと（b）バクマイ病院心臓研究所質管理部から心臓カテーテル使用時のチェックリストの項目記入にかかる遵守状況の時系列データを収集しはじめている。その他約10病院との協力関係を樹立すべく調査手順の作成を進めた。

研究発表及び特許取得報告について

課題番号：27指2

研究課題名：開発途上国（ベトナム、ラオス、カンボジア等）における医療の質・安全の取り組みの進捗の可視化に関する研究

主任研究者名：仲佐 保

論文発表

論文タイトル	著者	掲載誌	掲載号	年
該当なし				

学会発表

タイトル	発表者	学会名	場所	年月
該当なし				

その他発表(雑誌、テレビ、ラジオ等)

タイトル	発表者	発表先	場所	年月日
該当なし				

特許取得状況について ※出願申請中のものは()記載のこと。

発明名称	登録番号	特許権者(申請者) (共願は全記載)	登録日(申請日)	出願国
該当なし				

※該当がない項目の欄には「該当なし」と記載のこと。

※主任研究者が班全員分の内容を記載のこ